

新しい出発の年

校長 清村 幸一



新校舎に移転して約半年が過ぎました。子どもたちの学校生活もずいぶん落ち着き、教室で元気に発表する声、校庭で楽しく遊ぶ姿を、毎日見ることができます。前の開浦洞校舎には、桜の木がたくさんあり、入学式のころには、一斉に花が咲き、私たちを楽しませてくれていました。上岩洞の新校舎はどうかなど思っていましたら、開浦洞より一週間ほど遅れましたが、正門のスロープ下に植えられた桜がしっかり咲いてくれました。やはり日本人にとって、桜の花は特別な思いがあります。満開の桜に何とも言えない美しさを感じながら、しばらくの間、一人見取れていました。

さて、本年度は6名の新派遣教員が赴任し、総勢47名のスタッフで学校を運営いたします。今年の職員の合言葉は、「本気・全力投球」です。一人一人が持ち味を生かして、子どもたちのために精一杯努力いたしますので、どうぞよろしくお願ひします。

また、4月13日の入学・入園式では幼稚部14名、小学部48名、中学部31名の新入生を迎え、今年は全校幼児児童生徒数427名でスタートしました。昨年度のスタート時より約40名増え、一斉下校のバスも1台追加して、全部で10台となりました。子どもたちに負けないよう、益々張り切っている私たちです。

さて本年度は、

明るく 元気で ピリッと気が利いた子ども

をめざす子どものイメージとして掲げ、次の三点に重点をおいて教育を進めます。

1. あいさつを中心にした積極的な生徒指導

昨年、中学部の「立ち止まって、お辞儀をしながら、爽やかなあいさつ」が大好評でした。今年はいいさつ運動を中心に、落ち着いた学校生活ができるよう、積極的な生徒指導に努めます。

2. 授業で勝負

学校生活の中心は授業です。全職員一丸となって、「わかる授業」「楽しい授業」を追求します。そのために先生方の授業力アップを図るための研修会もたくさん企画しています。

3. 集会を通した全校歌声づくり

集会の内容を工夫・改善し、全校で歌う場面を設定します。子どもたちの元気な歌声が、毎日校舎に響くのが楽しみです。

昨年度の新校舎開校式で、「素晴らしい新校舎で育つ子どもたちが自慢だと言えるような教育を行っていきたい。」と話しましたが、今年はその実行に移し、新しい教育に取り組む出発の年です。

学校教育目標の「たくましく 心豊かに 世界に生きる子ども」を達成するために、まずは子どもたちの内面や感性をしっかり高めたいと考えていますので、本年度もどうぞよろしくお願ひします。